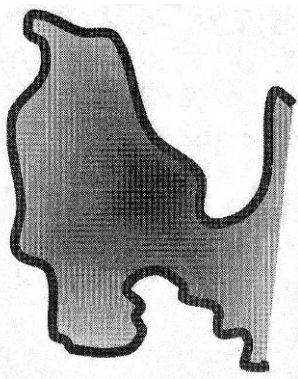


清里 まちづくり

No.32



企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

収穫祭

【そば打ち部会】

今年も例年通り、そばの種まき、刈り取り、はんで掛け、脱穀と無事終りました。

収穫祭当日は、そば部会会員は、朝8時に調理実習室に集合し、そばつゆの確認をして、そばを打ち始め、そばつゆを部員で打ちました。さあここからが大変、茹で方や盛り付けの人達は跳びはねる位の準備で大変でした。

～ここからは部員の声～

そばの種まき、脱穀とそば打ちのお手伝い、脱穀は本当に大変だった。大勢の人達がおもしろいと言って召し上って下さっているのが嬉しいです。

収穫祭は大変

一年目は物珍しさもあり、始めて経験する事ばかりで楽しかった。

二年目は、大変な事が良くなりまりました。今年もと言われると人数も減り難しいと思う。

清里で収穫したそば粉で作った味はと危惧しておりましたが、食べてみたらおいし
いと皆さん
に喜んでい
ただき本当
に安心しま
した。

小学校3年生の男子が「こんなにおいしいそ



そば打ちに興味津々

「食べた事がない」と言って、お母さんに持って行って食べさせたいというやさしい言葉を聞き、涙が出るほど感激してしまいました。

そばの種まき、脱穀から始まりそば作りのお手伝いに参加ができ大勢の人達がおもしろいと言って召しあがって下さっているのが嬉しいです。

そばを打ってみたい方を待っています。毎月第二火曜日、午前9時より。打ったそばは、お持ち帰りできます。

(部会長 森村信政)

収穫祭

【食育部会】

「収穫祭」を行いました。

清里地区恒例の「少年の日フェスティバル」と同時開催で、収穫祭をそば打ち部会と共に開催いたしました。夏の収穫祭も多くの人達に食べて頂きましたが今回も無料配布をいたしました。来賓の山本市長から「きよさと焼はいつ食べてもおいしい」というお言葉を頂きました。今は食育部会のスタッフが少ない、なかなか積極的にイベント参加とはいきませんが、市長から「もっと色々な機会に食べたい」と言ってもらえるので、スタッフをもう少し増やしていきたいです。

収穫祭が今年度最後の行事となりましたが、多くの人達に手伝ってもらい、本当にありがとうございました。おかげさまで、前橋市からの依頼も増え、出店を断ることも多くなりました。少

しずつきよさと焼が認められていく実感となつてきています。来年度は是非一緒にきよさと焼を焼いてみませんか。夏祭りも有りますので是非一緒にきよさと焼を焼きましょう。

(部会長 新井博孝)

「地域づくり交流フェスタ2014」の開催決まる！

恒例イベントの「地域づくり交流フェスタ2014」の開催が決定しました。前橋市内には、清里まちづくり協議会のような地域づくり団体が各地区に22あります。これらの地域づくり団体の交流や発表・情報交換のイベントが地域づくり交流フェスタです。毎年、イベントの内容をその時々状況に合わせて見直しており、今年のテーマは、「地域づくり活動に携わっている人や地域づくり活動に興味のある人」を対象にした「事例報告とそれを参考にした情報交換や交流」です。開催日時は、平成26年6月22日(日)、会場は前橋市総合福祉会館の予定となっています。まちづくり活動に既に携わっている方はもちろん、ちょっと協力してもいい



きよさと焼に長蛇の列

かな」という方がいらつしやいましたら、是非お出かけ下さい。他の地区の地域づくり活動を知ることが出来て、「へえ、こんなこともやっているんだ！」と興味を持っていただけたこと間違いなしです。

(事務局次長 松下 均)

天神待ち 青梨子町

歴史的な大雪から一週間、なお腰まである雪の回廊となつた参道をたどつて青梨子町の鎮守様、菅原神社に習字を奉納し、



習字を奉納し記念撮影

益々の発展を祈願しました。

天神待ちは、菅原道真公の命日二月二十五日の前夜、子どもたちは習字を



書き、学業成就を願ひ、大人たちは家内安全・健康長寿を祈願するものです。代々引き継がれてきたこの風習を末永く心に刻みたく

恒例の行事としてしているものです。

当日は、あたり一面真っ白な雪景色にもかかわらず多数の参加者を得て、関根清耕先生の御指導の下、子どもも大人も高齢者もめきめきとその腕を上げさせ、素晴らしい作品群を仕上げました。

引き続き天神待ちについての講話を清寿会長が行い、更に役員、保護者で調理した五目飯をいただき有意義なひと時を過ごしました。

作品は春の例大祭頃まで掲示しますので、一度御覧ください。

(自治会長 関根一雄)

前原地区世代間交流と文化祭

毎年3月上旬に開催の恒例行事であります世代間交流は、今年は3月2日(日)に行いました。残

念ながら小雨が降りやまず駐車場で外の遊びができず、前原集落センターホール(清寿会役員を中心に輪投げ等の遊び)とふれあいの家(スマイルポーリング)に分散いたしました。子ども会役員の皆様は綿菓子・ポップコーンをつくり、



子ども達の楽しみを増やして頂き、その後はゲームを行いながら楽しいひと時を過ごしました。今年は、天候状況により子ども達の来場が例年より少なくな感じられました。自治会役員・各団体役員の皆様のご協力による赤飯やお菓子を子ども達に配り世代間交流は終了しました。

文化祭の一部門である作品展示は、午前9時から、多くの皆様のご協力を頂き、和室全体を埋める趣味の作品が集まりました。地域の高齢者施設・障害者施設の利用者さんの作品も毎年出品を頂いております。参加来場者の皆様から作品に対する感動、感謝の言葉も多くいただきました。午後は、ホールでの芸能発表が清寿会の皆様の合唱から始まりカラオケ・ダンス・マジック・ラフターヨガ・詩吟・大正琴演奏・落



力作が揃いました!

語・子ども達の合唱等でご来場の皆様も十分に楽しまれたことと思います。多くの関係者の皆様に、ご支援、ご協力をいただきまして世代間交流・文化祭が無事に終了できましたことに対し、紙上をお借りして深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

2月14日の観測史上初めての大雪では、地域の皆様に生活道路の除雪にご協力を頂き誠に有難うございました。建物等の被害にありました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

(自治会長 松島 登)

編集後記

今年に入り二度の大雪。特に2月14日から15日に掛けての雪は一晚とは思えない降雪量だった。朝、恒例の愛犬の散歩のため玄関ドアを開けたらとんでもない景色が、ビックリして後ずさりするのも無理はない、犬には情報源がない。人間でさえ、天気予報から雪だとは察知していたが、想像をはるかに超えた雪には驚いた。

雪の日特有の静けさの中、ためらう犬を少し強引に引いてみた、歌とは違い喜んではいない。「コタツで丸くなる」のが性に合う犬である。

県道は車ではなく、ワダチを人が列をなして歩いている光景は時代がタイムスリップしたようだ。榛東まで四時間掛けて歩いて通勤です。凄い女性に行き会った。まだまだ自分も頑張らなくては……

(事務局広報部会 T・T)

